

仏事の知識

不幸と梅干し

『不幸があつた年は梅干しは漬けない』『不幸の年に漬けた梅干しはカビが生える』とかの言い伝えがあります。不幸と梅干しは何ら関係がありません。昔から「梅干しはその日の難逃れ」と言われるとおり、健康面で果たす役割はとも大きなものがあります。今の時代のように医学が発達していなかった江戸時代の人々には、梅干しはとても大切で重要な常備薬であつたようです。それだけに漬けたらカビを生やさないように、腐らせないようにと丁寧に慎重に作り、気が抜けない作業であつたと思われます。

不幸の時には心が動揺し不安定になり、気持ちが悪く落ち着かなかつたり、他の事に忙しくて、梅干しに手間をかける暇もなく腐らすことが多かったのかも知れませんが、どんなときでも落ち着いて冷静に事を為すという戒めで捉えたらどうでしょう。

永平寺だより

永平寺修行中の二男秀孝は三月で丸三年になります。昨年は、監行、殿行、受所接司、と配役をこなし、現在大庫院貼庫として修行僧の食事を司るところにあります。二月十六日からは今年の上山者が永平寺に登つてきます。指導者として古参として責任重大になつてきました。



瑞應寺だより

三男恭真は大学の卒業見込み証明書を取り寄せ(卒業式は欠席)、三月上旬には四国、愛媛県新居浜にある修行道場・瑞應寺へ旅立ちます。有難いことに長男、二男、三男共に同じ道を選びました。思えば、平成八年八月五日広厳寺に於いて三人一緒に得度式をいたしました。年齢は十、十二、十四歳でした。それぞれ仏道修行により世の模範となつて活躍してもらいたいと願つております。

梅花だより

宗務所主催梅花流講習会  
 期日 二月十五・十六日  
 会場 月岡温泉ホテル泉慶  
 講師 須戸秀圓師、乙川良介師、山田賢隆師、他管内師範  
 特別講師 仏像ガール  
 参加 宗務所内梅花講員二百名

宗務所主催總持寺奉詠  
 期日 十一月九・十・十一日  
 会場 大本山總持寺  
 奉詠 十一月十日午前九時  
 参加 宗務所内梅花講員二百名

当寺練習会

二月(三日) 災(午後一時)  
 三月 十日(永) "  
 三月(二三日) 災(永) "  
 四月 八日(永) "  
 四月(二日) 永(永) "  
 五月(十一日) 災(永) "  
 五月(二十日) 永(永) "

梅花流詠讚歌(御詠歌)を始めませんか!  
 お釈迦さま・道元さま・瑩山さまを讃え、ご先祖様を敬うところをお唱えします。



ご案内 (17 教区主催研修旅行)

函館高龍寺参拝と秋の道南をたずねて!  
 宿泊 湯の川温泉・登別温泉  
 期日 平成 22 年 10 月 4 日~6 日(第 1 班)  
 10 月 5 日~7 日(第 2 班)  
 旅費 85,000 円  
 〆切 3 月末日(第 1 回〆切り)  
 \* 詳細はお寺まで

ご案内 (広厳寺主催研修旅行)

日本三大天狗・沼田迦葉山参拝と  
 館林茂林寺(分福茶釜の寺)・伊香保温泉の旅  
 期日 平成 22 年 6 月 4 日~5 日(1泊2日)  
 旅費 28,500 円  
 人員 40 名  
 〆切 4 月末日(但し定員次第〆切り)  
 \* 別紙参照

年回忌のご案内は正当各家へ直接ご案内ご通知しています。本堂には張り出ししておりません。  
 1 周忌、3 回忌、7 回忌、13 回忌、17 回忌、23 回忌、27 回忌、33 回忌(弔い納め)